

構造的な板書と／ート指導の工夫

授業に欠かせない板書とノート。要点が明確で構造的に整理された板書は、児童生徒の理解を助け、新たな気付きを生み出し、言語活動を活発化させます。また板書と関連付けられたノートは、児童生徒の思考を深め、貴重な学びの足跡となり、さらに教師自身の授業改善にも役立ちます。最も身近な学習ツールを、ぜひ一度見直してみませんか。

《板書の例》

① 日付、単元名

② 学習課題



スムーズな導入のため、色の使い方や書き方のルールを作っておくのもオススメです。

③ 学習活動

・問題文、写真、実物など



「今日はこれを勉強するんだ。」「おもしろそう！」など、児童生徒が学習内容をつかんだり、興味をもったりするよう、具体的に提示しましょう。

④ 思考の過程

学習課題に対する

- ・解決法
- ・予想と結果
- ・想像したこと など



児童生徒の反応を予想し、示す情報を精選しましょう。また、カテゴリー化や箇条書きなど、意見を整理し、思考の流れが見えるように工夫しましょう。

- ・児童生徒が書いたものを貼る
- ・児童生徒に板書させる
- ・ネームプレートを活用するなどの方法で、授業に対する参加意欲を引き出すこともできます。

⑤ まとめ



「これが分かった、できた。」という達成感が次の学習意欲に結びつきます。学習課題と正対しているか、的確な言葉でスッキリまとまっているか、確認しましょう。

⑥ 習熟・応用



内容の理解と定着を図るために、問題を精選しましょう。



《ノートの例》

① 日付、単元名

②③ 学習課題・学習活動

学習課題を色で囲むと、復習の際に振り返りやすくなります。必要に応じて問題文などを書くのもよいでしょう。

④ 思考の過程（自分）

課題に対する自分の考えを記述します。考えをしっかりと残すことで立場がはっきりし、他者の考えと比較検討しやすくなります。また図や絵などを用いて分かりやすく書くこと、考えの根拠を明らかにして書くことで、思考力や説明力を鍛える場となります。

④ 思考の過程（他者）

他者の考えや、新たな気付きを記述することで、多様な考えを身に付けることができます。また交流の感想などをメモすると、学び合いの意義や楽しさを味わうこともできます。

⑤ まとめ

課題に正対しているか、振り返ることが大切です。

⑥ 習熟・応用

定着を確認し、家庭学習と関連付けることもできます。

ノート活用のポイント

① その場ですぐ指導に生かす！

どこに何を書くか決めておくと、机間指導の際に、すぐに困っている子へ支援ができます。

② 定期的に見て指導計画に生かす！

単元のどの場面でノートを集めるかを決めておくと、個々の思考のつまずきや深まりを確認でき、指導計画に生かすことができます。

③ ノートならではの機能を生かす！

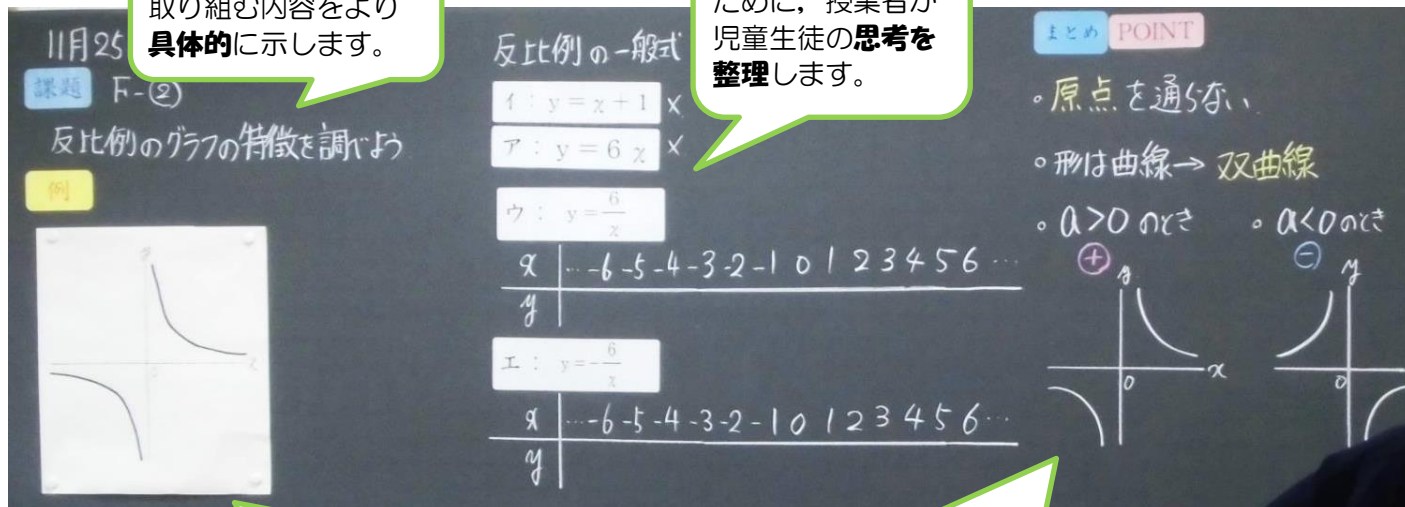
真っ白なページはどんな順番で書いたらよいか、どんな表を作ればよいかなど、児童生徒の思考力を鍛えます。ワークシートとの関連を考え、効果的にノートを活用しましょう。

≪ 板書の具体例 ～中学校 数学～ ≫



学習課題を提示。今日取り組む内容をより**具体的**に示します。

課題を解決させるために、授業者が児童生徒の**思考を整理**します。

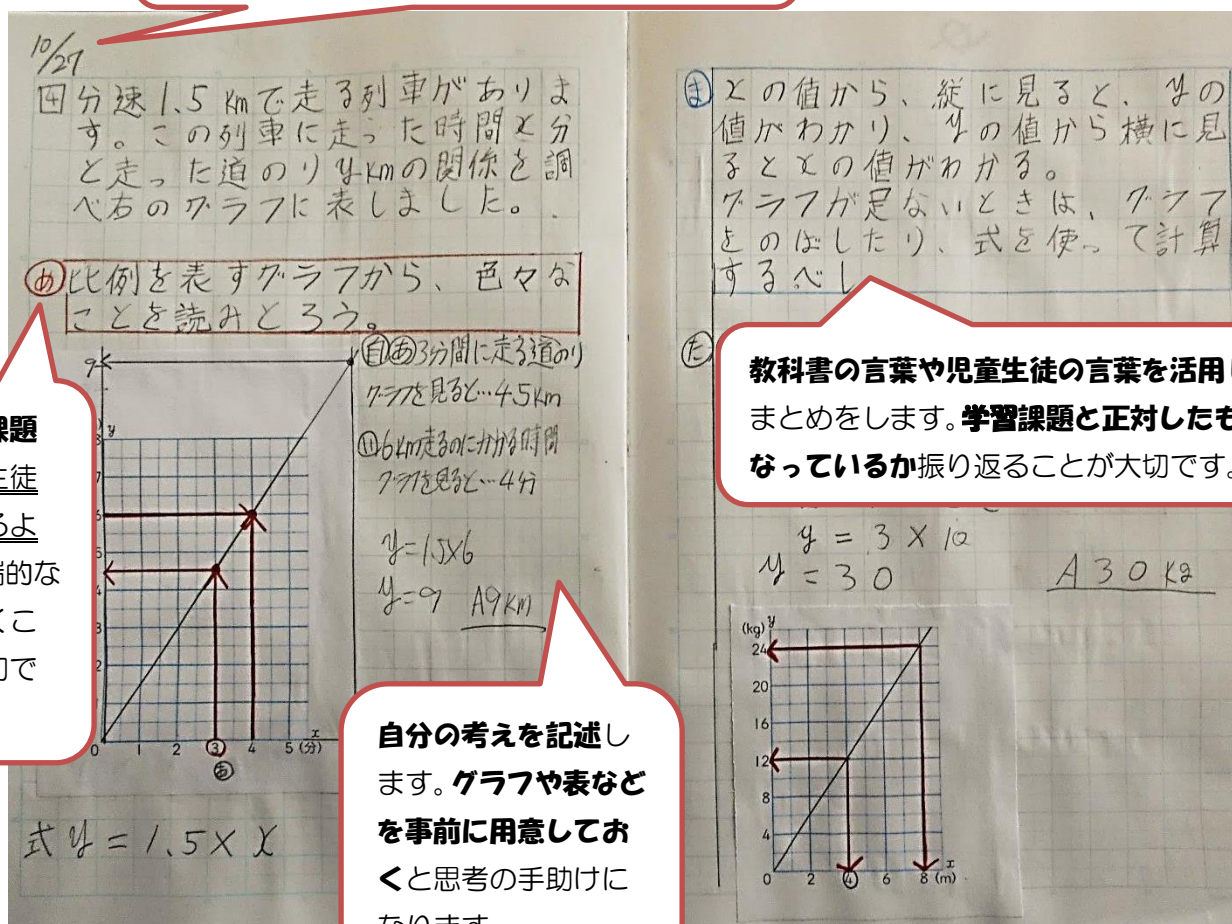


本時の学習に対して、児童生徒が**興味・関心をもって取り組めるか**が重要です。

児童生徒の**言葉**を使いながら、本時の**まとめ**を板書します。**色分け**し要点整理するなど、ノートにつなげています。

≪ ノートの具体例 ～小学校 算数～ ≫

ふり返りがしやすいように、**日付・単元名**を入れます。**ページ番号**も入れるとより効果的です。



本時の課題は児童生徒が**分かるように**、端的な文で書くことが大切です。

自分の考えを記述します。**グラフや表などを事前に用意しておく**と思考の手助けになります。